



## 誰が電源を入れたんだ？



今回のピックアップ

### 事故の発生について

業務中けがをしたり、危ない思いをしたことはありませんか？業務をしていれば大なり小なり事故の可能性が潜んでいます。しかしそれを起こしにくくすることは可能です。

今回は死亡に繋がってしまった重大事故の事例を交えながら事故を起こしにくくする方法を考えていきましょう。

#### 事例1 二酸化炭素設備の誤作動

東京都新宿区のマンションにて天井ボードの張替え作業中に内装業者作業員4名が死亡、1名が意識不明の重体となった事故。何らかの原因で高圧ガスである二酸化炭素消火設備が作動したことによるものです。

#### 事例2 ミキサー巻き込まれ事故

東京都府中市四谷にあるアスファルト製造会社の工場にて男性2名が死亡する事故。機械のメンテナンス中アスファルトを混ぜるミキサーの部品に挟まれたとみられます。

どうしてこのような事故が  
起こってしまったの？



どちらも**安全確認がされず**  
**に装置が作動してしまった**  
ことが原因と推定されます



事例1・2はともに装置の**電源が入ってしまっていた**ことにより発生しています。この電源は事故発生時の作業員ではなく**第三者**が落としておくべきものでした。このよううっかりでは済まされないミスも存在するのです。次の3つの項目を参考に職場を点検してみましょう。

# 事故を減らす 3つの点検

1

事故の**危険**はありますか？

潜む**リスク**を探してみよう！

◆回転するものはありますか？

◆止まっている状態から動き出すものはありますか？

例えば

各種ポンプ、送排風機、シロッコファン、真空掃除機、回転灯、エスカレーター（ベルト・ステップ）、電動丸鋸、グラインダー、電動ドリル、回転トビラ、自転車、バイク、自動車、リヤカー、三輪車、台車 などなど・・・

2

事故防ぐ**決まり**はありますか？

リスクへの**対策**を決めよう！



◆作業や点検時の手順や安全確保のルールがありますか？

◆決められたルールはきちんと守られていますか？

3

ルールだけでは**事故が防げない**・・・

**環境**から見直してみよう！



◆その作業をする必要はありますか？

◆電源を切らないと危険物に触れない仕組みにできませんか？  
例：インターロック

◆機械やロボットで作業を代行できませんか？



一人ひとりの力で事故を減らしていきましょう！